



ロータリー：  
変化をもたらす

## パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ：奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ（2017-18年度 会長：長谷川 博久 幹事：後藤 達朗）  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

### 第691回例会 10月3日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会：松島弘明 三枝潤也
- 点鐘：長谷川博久
- ゲスト：古川龍樹(りゅうじ)様  
米山記念奨学生 薛安琪さん
- 議事：クラブ広報委員会  
叫びたし、寒満月の割れるほど～福岡事件について

〈出席報告〉

会員数 76名(内 出席免除会員3名)

出席数 61名 出席率 83, 56%

前々回出席率 82, 67%

#### ■会長挨拶

10月に入り、朝晩が肌寒くなり体調管理に十分注意してほしい。福岡事件について卓話者の古川様は、熊本県の玉名市から来て頂いた。

NHK 朝ドラの「ひよっ子」が先週で終わる。主人公は昭和21年生まれ。ドラマでは、昭和39年から昭和43年の時代が描かれ時代背景的に懐かしく感じる方も多いのでは。昭和42年当時の資料には、作業員の一日単価が350円位でセメントも同じ位。現在と比較で日当が50倍位、材料のセメントは、3倍～4倍の値。当時は材料が高く物を大事にした時代。現在は高い人件費や無駄の削減に視点が変わっている。時代の流れだろうが、いろいろなものを捨て去る時代で少し寂しい気もする。

#### ■幹事報告

- ・ 桑さん、宮崎さん、転勤にて退会。
- ・ 桑さん、退会の挨拶。
- ・ エンド・ポリオの取り組みについて。
- ・ 地区大会について。

#### ■委員会報告

- 会員選考・クラブ研修委員会 金山
  - ・ 故山川啓介先生の偲ぶ会の様子。
  - ・ 私の思い出の写真未提出者は早急に出すこと。
- 親睦部会 池田
  - ・ 10月24日の創立記念例会について。
- ゴルフ同好会 松本由
  - ・ 9月18日の11RCコンペについて。スマイル参考。
- 奨学金の授与とスピーチ 薛安琪さん

#### ■スマイル

- ① 古川様、遠方よりお越しいただき、貴重な卓話を有難う御座いました。大変、参考になった。(会長)
- ② 古川龍樹様、貴重な話を有難う御座いました。今後の益々の活躍を祈ります。(クラブ広報一同)
- ③ 9月18日 11RCゴルフ大会・パワーRC青空例会優勝、RC全体ではダブルリペアで11位、三ヶ日牛の詰め合わせを頂いた。(近藤)
- ④ 上記①の浜名湖カントリークラブにて人生初のホールインワン、最高の気分。ゴルフ保険の加入を勧めます。(山崎)
- ⑤ WRO全国大会に野田さんの孫と息子が参加、良い経験となった。(武田)
- ⑥ 協力を頂いたロボットWROの日本決勝大会に、ロボット塾の小学生チームが優勝。11月12日に中南米のコスタリカの世界大会に出場する。NHK静岡の取材もあり生放送される。(福地)
- ⑦ WRO浜松予選大会の代表が全国大会で見事優勝、世界大会が決まる。福地さんも引率との事、活躍を期待する。(会長)
- ⑧ 「良いことも、悪いこともよく当たる」と言われている私は、大東建託の全国お客様招待旅行にて、社長より一等賞を当て、賞状を頂く。一等は一等でも、アパート一棟がいいなと言ひ、大笑いとなりました。(原田)
- ⑨ 9月23日 中田島堆砂垣作り後、遠州灘沖で、伊藤さん、後藤さんのクルーザーにてトローリング体験。ポセイドン号(伊藤さん)はカツオ、シーラと大漁。マンボウ号は・・・カツオは美味でした。(熊谷、鈴木直)
- ⑩ 2年10カ月のご縁を忘れずにいます。転勤となりました。(桑)

■議事 「叫びたし寒満月の割れるほど」  
～福岡事件について～

担当：クラブ広報委員会

卓話者

(宗) 生命山シュバイツァー寺 代表

(福岡事件再審キャンペーン事務局)

古川龍樹(りゅうじ)様

・昭和22年に起きた福岡事件の内容、再審への動きは、添付の資料によるが、卓話では、古川さんのお父様が命がけで冤罪を訴え、全国行脚した様子が良くわかった。

また、そういった父親の背中を見て育った古川さんは、現在、再審キャンペーンを実施し、現状を熱く語られ感激した。

出来ることではない。最後に、資料として印刷してきたものをプリント代金として会員はカンパさせて頂いた。



「福岡事件」再審キャンペーン

※「私はわらじがめがれない」2017 ご案内とお願い  
事件70年目を迎えて～西武雄遺品展(講演会)70か所で行います!

「釈尊よ、私の無実を見て下さい。苦悩の連続です。無力な者が故に佛のお加護を乞うて仏画写経を描いているのです。」(西武雄日記より)

「福岡事件」で無実を訴えながらも死刑囚となった西武雄さんは、28年間の獄中生活で約3000巻の写経、仏画を描きました。「罪を償うためではなく、誰も聞いてくれない無実の叫びを、どうか仏様よ聞いてください」という思いで描き続けたのです。



「叫びたし寒満月の割れるほど」  
「ひばり野に大手を振って出てみまし」(西武雄獄中句)  
叫びたくても叫べなかった彼の無言の絶叫、1975年6月17日、28年間の無実の訴えは届かず彼は、突然処刑されたのです。  
彼は日頃「私は、死を恐れていない。ただ誤判によって無実のものが死刑になるという悲しい出来事が今後再び繰り返されてはならない」と落していました。どうか彼の無実の訴えを、魂の叫びを聞いてください雪冤への想いに触れてください。 合掌 生命山シュバイツァー寺



【福岡事件と再審運動】

1947(昭和22)年5月20日、占領下の福岡市で中国人と日本人の2人の商人が、軍服のヤミ取引の最中に殺され、現金が持ち去られました。警察は「計画的な強盗殺人事件」と断定して捜査し、西武雄さん(32)を主犯、石井健治郎さん(30)を共犯者として逮捕します。西さんは、取引の手付金として現金を持ち帰ったが、石井さんとは初対面であり、殺人現場も知らないと事件との関係を全面否認します。石井さんは、誤って2人を射殺してしまっただけで、「強盗」目的でなく、強盗であると主張しました。しかし、殺された中国人が戦時国中国軍の重鎮で、占領軍の圧力がかかります。取調べでは、拷問などにより自白だけが証拠とされ、更に糾問主義的な裁判で誤った審理がなされました。西さん、石井さん以外の共犯者の嘘の自白だけが証拠となり、結局1956(昭和31)年、「強盗殺人罪」で西さん、石井さんの死刑が確定します。「死罪のヤミ取引」と「誤殺事件」を捜査当局が強引に結び付け、「計画的強盗殺人事件」として無実な人間に死刑の判決を執行する中、教師の古川泰龍(拙書開山)は、独自に調査をし、1961(昭和36)年助命再審運動を開始します。原稿用紙2千枚の「真相究明書」を出版、法務大臣に直訴し続け執行を阻止、又国会議員の托鉢行脚、街頭署名活動を全国に展開していきます。しかし、5回に渡る再審請求は全て棄却されてしまいます。そんな中、1968(昭和43)年、社会党の近江市子衆議院議員らが中心となって、国会に「再審特例法」案を上程します。占領下の裁判で死刑判決を受けた「福岡事件」「帝銀事件」「三鷹事件」「免田事件」などの再審開始要件を緩和する目的で提出されたもので、執行の一時停止と死刑確定因にもう一度審判を受ける機会を得やすくさせるという画期的な法案でした。

【在獄28年目の無残な処刑 闇に葬られた真実】

残念ながら、法案は廃案になりますが、政府は政治的取引で再審対象者に「恩赦」の救済を表明します。しかし1975(昭和50)年6月17日石井さんが恩赦で無期懲役に減刑された同日、西さんだけが突然処刑されてしまいました。同じ事件の死刑囚で、同じ日に1人は無期に減刑、1人は処刑、2人の明確に分けたのは何だったのか、真実はまだ闇に葬られたままなのです。1969(平成元)年石井さんは仮釈放され、2005(平成17)年5月には、弁護士(八尋光秀代表)の協力で西さん執行後初の再審請求を福岡高裁に行いました。しかし2009(平成21)年西さんの遺族と石井さん本人が相次いで亡くなり、再審請求は終了、および棄却されました。

【事件70年目のキャンペーン～遺品展(講演会)70か所を目指します!】

それでも私達は諦めません。私達は、現在も再審実現のために「再審法」の制定を目指し、国会への請願活動を行っています。また西さんの思いを後世に伝える為、遺品を保存整理する活動(「西プロジェクト」)を始めました。そして昨年からの雪冤への思いを込めて「ぬれぎぬ観音」石仏の建立と「福岡事件」資料館の建設も計画進行中です。

更に今年は、事件から70年と言う節目の年、私たちは西さんの遺品展(関連する講演会)を全国70か所で開催するという計画を立て、皆様にご協力を呼びかけることにしました。悪化に抗うために、そして少しでも多くの人に福岡事件と運動のことを、そして西さんの思いを伝え、それが更に冤罪、死刑、命について深く考えさせて頂く機会になればと考えています。これらの活動が再審実現への次のステップとなると信じ、今年のキャンペーンは、年間通じ(例年は春のみ)で行います。

★ご協力をお願い。再審運動のためのご寄付をどうぞお願いいたします。  
郵便振替 口座記号番号: 019805-5-62995 加入者名: 宗教法人生命山シュバイツァー寺  
お問合せ/連絡先: 生命山シュバイツァー寺 玉名市立願寺584 TEL0968-72-3111

